



2024年11月26日  
第83号

# JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## イーハトーブ

11月25日

最近、「闇バイト」という言葉をよく聞く。スマホのアプリなどで仕事と称して高額収入を謳い募集し、初めて会う者同士が強盗殺人事件などを全国各地で起こし、世間を震撼させている。若者だけでなく30代・40代も犯罪に手を染めている現実がある。もちろん殺人や強盗は当然許されることではなく、厳しく断罪しなければならぬ。

しかし、闇バイトに簡単に応募し、脅されて犯罪に加担してしまうのはなぜか?と考える必要があるのではないか。闇バイトに就いてしまっているのは圧倒的多数の労働者である。今の日本の現実には、富裕層が富を独占し、労働者層の賃金は約30年横ばいの中、物価は上昇し貧困層が増えている。人間が生きていく中で欠かせない衣・食・住もままならない人たちがたくさんいる。夢や希望もないうちで、簡単に大金が手に入る欲求に負けてしまうのが根本的な原因ではないか。犯罪は許されることではないが、「犯罪を犯す人だけが悪い」では根本的に問題は解決しない。闇バイトに就いてしまう事だけを論ずるのではなく、皆が平和で豊かに生活する権利があるはずだ。今の社会情勢や、裏金問題で誰も責任を取らない無責任な政治も関係している。誰もが平和で豊かな暮らしができて、希望が持てる未来を目指さなければ、闇バイトに手を染める人は減らないと感じている。だからこそ、JR東労組推薦議員等懇談会の議員を政治の場に送り出さなければならぬ。(K・S)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。